

<p>タイトル</p>	<p>自動運転EVバスの実証実験</p>			
<p>内 容</p>	<p>本市では、第6次富士吉田市総合計画で、御師文化の上吉田地区と昭和レトロな町並みの下吉田地区を一体的に捉えた「都市シンボル軸」として定め、唯一残る麓からの登山道の保存・活用として、「富士みち」を中心にしたまちづくりを掲げています。</p> <p>こうした中「富士みち」を行き来する新たな公共交通の提供による、交通インフラの維持向上と持続可能なまちとしての活力向上を目的として、国土交通省管掌の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転実証調査事業）」において、9月4日(月)付けで本市での「自動運転EVバスの実証実験」が採択され、9月11日(月)に補助金の交付が決定しました。</p> <p>今回の実証実験では、将来的な自動運転レベル4の社会実装を目標に、地域公共交通としての自動運転EVバス車両の社会受容性や技術面での検証のほか、自動運転EVバスの走行による周辺地域への訪日観光客回遊性の向上、地域産業への経済的波及効果の検証などを行います。</p> <p>また、地域事業者への波及効果検証のため、自動運転EVバスの利用者が運行ルート周辺の店舗などで「バス利用者特典サービス」を受けられる施策の実施を検討しております。</p> <p><実施体制（コンソーシアム）></p> <p>代表団体 ■ 富士吉田市</p> <p>〔事業全体の企画、進捗管理、成果測定、参加・協力団体相互の調整など〕</p> <p>参加団体 ■ 富士急行株式会社〔運行に関わる計画策定・諸設備の提供など〕</p> <p>富士急バス株式会社〔運行に関わるオペレーションなど〕</p> <p>協力団体 ■ 山梨大学工学部/生命環境学部地域社会システム学科、慶応義塾大学 SFC 研究所、東京大学都市デザイン研究室、武蔵野大学都市学研究体、富士吉田商工会議所、一般社団法人富士五湖観光連盟、一般財団法人富士吉田観光振興サービス、株式会社ふじよしだまちづくり公社</p> <p>外注先 ■ ^{ボールドリ}BOLDLY株式会社〔車両の供給・技術支援など〕</p> <p><実証実験計画概要（予定）></p> <p>運行区間 ■ 下吉田駅～旧外川家住宅〔片道約2.1km〕</p> <p>運行期間 ■ 10月21(土)～11月10(金)の計21日間</p> <p>※準備期間：10月6(金)～20(金)の計15日間</p> <p>運行時間 ■ 午前10時～午後4時</p> <p>運行本数 ■ 1日12便〔30分あたり1便〕</p> <p>乗降場所 ■ 12カ所</p> <p>運行車両 ■ ^{ナビヤ アルマ}NAVYA ARMA〔NAVYA社（フランス）〕</p> <p>運行速度 ■ 20km/h未滿</p> <p>乗車定員 ■ 11名〔オペレーター1名を含む〕</p> <p>乗車運賃 ■ 無料〔事前予約制〕</p>			
<p>問合せ先</p>	<p>企画課</p>	<p>担当者名</p> <p>小俣・渡邊</p>	<p>連絡先</p>	<p>内線 228</p>
<p>備 考</p>				

